

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No.1 * *

コウナゴの採集はわずか． 盛漁期は遅い可能性あり

－島牧沖の漁期前調査結果－

中央水産試験場
後志南部地区水産技術普及指導所

調査の概要

2011年4月20日午後6～9時に、西島牧海域においてコウナゴ分布調査を実施しました。白糸岬沖から江ノ島沖にかけての5地点で、集魚灯を用い、たも網でコウナゴ採集を行いました。この調査は、第八喜久丸中山雄一さん、島牧漁協及び島牧村役場の方々と共同で実施しました。調査にご協力いただいた関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

3月ふ化群の資源量は少ない可能性

例年どおりの調査を行いました。集魚灯に集まるコウナゴはほとんど無く、採集は1尾(20.1mm)のみでした。毎年、この漁期前調査で採集される群は、主に初漁～5月上旬頃まで漁獲対象となる、3月中・下旬にふ化した群です。それ以降になると、4月にふ化した群が中心になります。昨年の5月末頃から6月上旬にかけての大漁の中心となったのは4月中・下旬にふ化した群です。したがって、ゴールデンウィーク以降の漁獲対象資源の状況は、この調査結果からは判断できませんが、漁期前半は低調で推移し、盛漁期が例年より遅くなる可能性があります。

水温推移は例年なみ→月末を目処に操業開始へ

今回の調査でコウナゴの採集がわずかだったのは、上記のとおり3月ふ化群の資源が少ない可能性もありますが、海況の影響で集魚灯へコウナゴが寄り付かなかった可能性もあります。

寿都湾の水温は3月中旬から上昇傾向になり(右図)、最近はやや停滞気味との情報もありますが、例年と比べ、それほど著しく低い状況にはないようなので、月末(来週)を目処に操業を開始して、漁模様の感触を実際につかむことが必要と思われます。私達も、初漁の漁獲物を分析し、改めて見通しを立てて、次回に情報提供しますので、ご協力よろしくお願ひします。

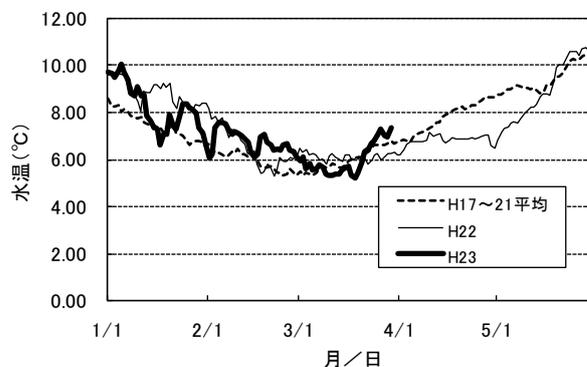


図 寿都湾の水温推移 (水深 20m)